

# 異変の早期発見と早期対応

～明るく風通しの良い職場～

1学期も半ばを過ぎました。新任者や異動者も、そろそろ学校のリズムがつかめていることでしょうか。反面、戸惑いや疲れを感じている人もいないでしょうか。

梅雨入りし、不快指数も上がってきています。先生方が元気に勤務でき、持っている力が十分発揮できるよう、教職員の現状把握と問題への早期対応をお願いします。

- 一人一人の能力、特性、健康状態を適切に把握していますか。  
→日々の授業観察（業務観察）と共に、細かな声かけ（会話）や面談を行う。
- 一人一人の勤務実態（勤務時間・休暇取得状況など）が把握できていますか。  
→退庁時刻の記録を付け、管理職が定期的に確認する。  
→仕事を互いに支え合うなど、気持ちよく休めるような工夫をする。
- 力があがり児童生徒から信頼されている教職員だと安心し、問題を見過ごしていませんか。  
→特定の教職員に任せきりにしない。  
→少しでもおかしいと感じたら、互いに声にしたり管理職に相談したりする。
- 人間関係の悪化を懸念し、教職員への指導を避けていませんか。  
→遠慮は不要、配慮は必要。相手のためにどうすれば良いのかを考えた上での振る舞いをする。
- 不祥事は他の学校のこと、他人事との意識はありませんか。  
→どこの学校でも発生する可能性がある。不祥事の芽を早期に発見し摘み取る。

～わたしたちの職場からは不祥事は絶対に出しません～